



様々な方に支えられている教育活動～体験に勝るものなし～

校長 北野 美紀

4月からの3ヶ月間を振り返ると、様々な方に支えられている中で、教育活動が実施できていると強く感じています。

毎日元気に、こどもたちを学校へ送り出してくださる保護者の皆様はもとより、毎朝安全に登校できるよう、見守り活動をしてくださっているスクールガードの方々や、ボランティアの保護者の方々、学校の中では、こどもたちの学びを支えてくださっている、読み聞かせ・図書、家庭科のミシン、ICT活用支援等様々なボランティアの方々、本当にありがとうございます。心より感謝申しあげます。また、今後とも、「こどもたちのやってみたい！」につながるご支援、どうぞよろしくお願いします。

次に、こどもたちの学びとして、「体験に勝るものなし」を実感しています。学校での体験活動は、個人ではなく集団だからこそ味わえる充実感があり、試行錯誤を繰り返す中で、達成感が生まれます。その体験は、こどもたちの成長にとって、かけがえのない学習だと考えています。また、これからの時代に求められる学力観とも繋がるものです。

先日実施したふれあい活動は、まさにその1つです。今年度は、1、4、6年生と2、3、5年生の2グループに分けました。それぞれ3学年混じり合うように作ったグループごとに、高学年が中心となり企画運営をし、遊びの時間を楽しみました。全校児童数が多く、異学年が顔を合わせ集うことが難しい中、様々な学年の子と交流を図ることができる、大事な機会の1つと捉えています。

各学年に目を向けると、

- ・1年生は、6月25日に交通安全教室がありました。すると翌日の朝、校門前の横断歩道を、手を挙げて渡る1年生の姿が見られました。
- ・3年生は、7月2、3日にバスに乗って市内巡りへ出かけます。市の博物館や市役所見学等を通して、「流山を知る」貴重な学習となります。
- ・4年生は、環境教育の一環として、ゴーヤを育てています。今後、市民の方に向けた発表の準備、SDGSの取り組みを知り、自分たちに出来ることを考える学習へと続いていきます。
- ・6年生は、キャリア教育の一環として、職業人講話を行います。その後、各クラスで4つのお店（屋台）を企画運営し、「夏祭り」を実施する予定です。こどもたちが考えるお店（屋台）、想像するだけでワクワクします。とても楽しみです。

